

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 株式会社 関電工

上場取引所 東

コード番号 1942 URL <http://www.kandenko.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山口 学

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 黒澤 一栄

TEL (03)5476-2111

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	314,067	—	5,435	—	6,366	—	3,953	—
20年3月期第3四半期	311,312	5.0	4,673	41.1	5,505	36.5	3,602	△3.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	19.32	—
20年3月期第3四半期	17.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	363,435	172,381	46.6	827.16		
20年3月期	373,674	173,171	45.8	837.07		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 169,211百万円 20年3月期 171,294百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	484,000	3.3	7,500	16.1	8,500	16.8	5,000	2.8	24.43

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社(社名 川崎設備工業株式会社) 除外 1社(社名)

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 205,288,338株 20年3月期 205,288,338株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 719,505株 20年3月期 653,099株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 204,607,380株 20年3月期第3四半期 204,668,179株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において想定される経済情勢や市場動向などを前提としたものであり、今後の様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

電力設備投資が引き続き抑制基調で推移したことに加え、金融危機に端を発する景気悪化に伴い国内建設投資は急速に縮小し、当社グループを取り巻く事業環境は一段と厳しいものとなりました。

しかしながら、売上高につきましては、前年同四半期をわずかに上回り3,140億6千7百万円となりました。また、利益につきましては、コストマネジメント機能の強化や収益性重視の営業活動を推し進めたことなどにより、営業利益54億3千5百万円、経常利益63億6千6百万円、四半期純利益39億5千3百万円といずれも増益となりました。

なお、当社グループの売上げの計上は期末に集中し、第3四半期における売上高は少ない傾向にあります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の資産の状況

・ 総 資 産	3,634億3千5百万円	(対前期末比 97.3%)
・ 純 資 産	1,723億8千1百万円	(対前期末比 99.5%)
・ 自己資本比率	46.6%	(対前期末比 0.8ポイント増)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ102億3千9百万円減少し、3,634億3千5百万円となりました。

(資産の部)

流動資産は、未成工事支出金が260億6千4百万円増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等が375億9千2百万円減少したことなどから、流動資産合計で前連結会計年度末に比べ81億6千6百万円減少しました。

固定資産は、有形固定資産が19億8千9百万円増加したものの、投資有価証券が67億3千9百万円減少したことなどから、固定資産合計で前連結会計年度末に比べ20億7千2百万円減少しました。

(負債の部)

負債の部は、流動負債の未成工事受入金が144億5千3百万円増加したものの、支払手形・工事未払金等が228億1千万円減少したことなどから、負債合計で前連結会計年度末に比べ94億4千9百万円減少しました。

(純資産の部)

純資産の部は、利益剰余金が16億2百万円、少数株主持分が12億9千3百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が35億3千9百万円減少したことなどから、純資産合計で前連結会計年度末に比べ7億9千万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成20年10月31日の第2四半期決算発表時に開示した連結業績予想を変更しておりません。また、連結業績予想の前提となる新規受注高を含む個別業績予想も変更いたしておりません。(個別業績予想は15ページに記載しております。)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

① 連結の範囲の変更

川崎設備工業㈱は、株式取得により子会社となったことから重要性を考慮して、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めることとした。

② 変更後の連結子会社の数

18社

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度に算定したものから著しい変動がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して一般債権の貸倒見積高を算定している。

(ロ) 棚卸資産の評価方法

一部の棚卸資産は、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定している。

(ハ) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法による減価償却費は、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定している。

(ニ) 退職給付費用の算定方法

退職給付費用は、期首に算定した当連結会計年度に係る退職給付費用を期間按分して算定している。

(ホ) 経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目は、合理的な算定方法による概算額で計上している。

(ヘ) 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断は、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度で使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用している。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表規則に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用している。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成している。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

材料貯蔵品

従来、移動平均法による原価法によっていたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定している。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はない。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっている。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

なお、リース取引開始日が当連結会計年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はない。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	31,038	32,996
受取手形・完成工事未収入金等	55,323	92,916
有価証券	14,992	11,992
未成工事支出金	94,739	68,675
材料貯蔵品	10,088	8,879
その他	13,101	11,719
貸倒引当金	△1,329	△1,058
流動資産合計	217,955	226,122
固定資産		
有形固定資産		
土地	59,304	57,706
その他(純額)	30,376	29,984
有形固定資産合計	89,680	87,690
無形固定資産		
投資その他の資産	2,354	2,174
投資有価証券	34,778	41,518
その他	23,268	20,332
貸倒引当金	△4,601	△4,164
投資その他の資産合計	53,445	57,686
固定資産合計	145,479	147,552
資産合計	363,435	373,674
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	68,205	91,016
短期借入金	10,384	9,750
未払法人税等	1,747	706
未成工事受入金	48,756	34,302
引当金	2,874	3,580
その他	10,498	12,646
流動負債合計	142,465	152,001
固定負債		
長期借入金	1,352	300
退職給付引当金	34,831	36,416
その他の引当金	823	820
負ののれん	467	20
その他	11,113	10,944
固定負債合計	48,588	48,501
負債合計	191,054	200,503

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,264	10,264
資本剰余金	6,426	6,425
利益剰余金	154,990	153,387
自己株式	△406	△364
株主資本合計	171,273	169,713
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,737	9,276
土地再評価差額金	△7,800	△7,695
評価・換算差額等合計	△2,062	1,581
少数株主持分	3,170	1,877
純資産合計	172,381	173,171
負債純資産合計	363,435	373,674

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
完成工事高	314,067
完成工事原価	291,119
完成工事総利益	22,947
販売費及び一般管理費	17,512
営業利益	5,435
営業外収益	
受取配当金	631
その他	647
営業外収益合計	1,279
営業外費用	
支払利息	161
為替差損	84
その他	102
営業外費用合計	348
経常利益	6,366
特別利益	
前期損益修正益	221
投資有価証券売却益	123
その他	7
特別利益合計	352
特別損失	
投資有価証券評価損	755
その他	75
特別損失合計	830
税金等調整前四半期純利益	5,888
法人税等	1,884
少数株主利益	50
四半期純利益	3,953

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	5,888
減価償却費	4,256
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	382
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,429
受取利息及び受取配当金	△876
支払利息	161
投資有価証券評価損益 (△は益)	755
投資有価証券売却損益 (△は益)	△114
持分法による投資損益 (△は益)	△20
売上債権の増減額 (△は増加)	42,744
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△22,502
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,520
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	12,658
その他	△5,150
小計	6,233
利息及び配当金の受取額	868
利息の支払額	△161
法人税等の支払額	△886
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,054
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	△173
有価証券の取得による支出	△5,000
有価証券の売却による収入	2,000
有形固定資産の取得による支出	△3,637
有形固定資産の売却による収入	161
投資有価証券の取得による支出	△1,078
投資有価証券の売却による収入	519
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	804
貸付けによる支出	△32
貸付金の回収による収入	42
その他	△415
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,811
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	114
長期借入れによる収入	200
長期借入金の返済による支出	△410
配当金の支払額	△2,455
その他	△106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,657

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,435
現金及び現金同等物の期首残高	37,503
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,067

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

【参考】

前年同四半期（要約）四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
科目	金額 (百万円)
I 完成工事高	311,312
II 完成工事原価	290,419
完成工事総利益	20,892
III 販売費及び一般管理費	16,219
営業利益	4,673
IV 営業外収益	1,104
V 営業外費用	272
経常利益	5,505
VI 特別利益	323
VII 特別損失	116
税金等調整前四半期純利益	5,712
法人税、住民税及び事業税	1,963
少数株主利益	146
四半期純利益	3,602

【参考】

【四半期個別財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

	(単位：百万円)	
	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	22,267	25,871
受取手形・完成工事未収入金	49,051	88,631
有価証券	14,992	11,992
未成工事支出金	88,410	68,323
材料貯蔵品	7,536	5,423
その他	10,941	10,563
貸倒引当金	△ 1,124	△ 831
流動資産合計	192,075	209,975
固定資産		
有形固定資産		
土地	56,226	56,493
その他(純額)	24,106	24,006
有形固定資産合計	80,333	80,500
無形固定資産	2,218	2,105
投資その他の資産		
投資有価証券	37,595	43,811
その他	20,625	18,308
貸倒引当金	△ 3,695	△ 3,677
投資その他の資産合計	54,525	58,442
固定資産合計	137,077	141,048
資産合計	329,153	351,023

【参考】

	(単位：百万円)	
	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	59,661	87,207
短期借入金	6,250	6,050
未払法人税等	1,668	298
未成工事受入金	45,299	34,105
引当金	2,501	3,540
その他	8,186	10,319
流動負債合計	123,566	141,520
固定負債		
長期借入金	400	300
退職給付引当金	32,791	35,215
その他	11,240	10,404
固定負債合計	44,432	45,919
負債合計	167,999	187,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,264	10,264
資本剰余金	6,246	6,246
利益剰余金	147,092	145,882
自己株式	△ 406	△ 364
株主資本合計	163,196	162,028
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,757	9,249
土地再評価差額金	△ 7,800	△ 7,695
評価・換算差額等合計	△ 2,042	1,553
純資産合計	161,153	163,582
負債純資産合計	329,153	351,023

(注) この四半期貸借対照表は、法定開示のレビュー対象ではありませんが、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

【参考】

(2) 【四半期損益計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
完成工事高	290,552
完成工事原価	270,286
完成工事総利益	20,266
販売費及び一般管理費	15,512
営業利益	4,754
営業外収益	
受取配当金	630
受取賃貸料	312
その他	345
営業外収益合計	1,288
営業外費用	
支払利息	76
為替差損	84
その他	82
営業外費用合計	243
経常利益	5,798
特別利益	
前期損益修正益	57
投資有価証券売却益	123
その他	7
特別利益合計	189
特別損失	
投資有価証券評価損	744
その他	72
特別損失合計	817
税引前四半期純利益	5,170
法人税等	1,610
四半期純利益	3,560

(注) この四半期損益計算書は、法定開示のレビュー対象ではありませんが、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

6. その他の情報

【参考】個別業績の概要

1. 平成21年3月期第3四半期の個別業績 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	新規受注高		売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	338,635	△1.8	290,552	-	4,754	-	5,798	-	3,560	-
20年3月期第3四半期	344,992	6.1	299,903	4.8	3,570	49.4	4,533	39.1	3,230	△6.1

	1株当たり 四半期純利益	
	円	銭
21年3月期第3四半期	17.40	
20年3月期第3四半期	15.79	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	329,153	161,153	49.0	787.77
20年3月期	351,023	163,582	46.6	799.39

(3) 工事種別新規受注高 (累計)

(単位: 百万円・%)

	21年3月期第3四半期 (H20・4・1～H20・12・31)		20年3月期第3四半期 (H19・4・1～H19・12・31)		増減		20年3月期 (H19・4・1～H20・3・31)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
屋内線・環境設備工事	162,663	48.0	164,174	47.6	△1,511	△0.9	211,138	45.9
情報通信工事	29,255	8.7	29,522	8.6	△266	△0.9	42,050	9.1
配電線工事	121,192	35.8	128,829	37.3	△7,637	△5.9	174,106	37.9
工務関係工事	25,524	7.5	22,465	6.5	3,059	13.6	32,661	7.1
計	338,635	100.0	344,992	100.0	△6,356	△1.8	459,956	100.0

(4) 得意先別新規受注高 (累計)

(単位: 百万円・%)

	21年3月期第3四半期 (H20・4・1～H20・12・31)		20年3月期第3四半期 (H19・4・1～H19・12・31)		増減		20年3月期 (H19・4・1～H20・3・31)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
東京電力	137,519	40.6	143,881	41.7	△6,362	△4.4	194,773	42.3
一般得意先	201,116	59.4	201,110	58.3	5	0.0	265,183	57.7
計	338,635	100.0	344,992	100.0	△6,356	△1.8	459,956	100.0

(5) 工事種別完成工事高 (累計)

(単位: 百万円・%)

	21年3月期第3四半期 (H20・4・1～H20・12・31)		20年3月期第3四半期 (H19・4・1～H19・12・31)		増 減		20年3月期 (H19・4・1～H20・3・31)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
屋内線・環境設備工事	126,219	43.4	—	—	—	—	211,175	46.9
情報通信工事	24,735	8.5	—	—	—	—	37,343	8.3
配電線工事	118,467	40.8	—	—	—	—	173,114	38.5
工務関係工事	21,131	7.3	—	—	—	—	28,400	6.3
計	290,552	100.0	299,903	100.0	△9,350	△3.1	450,034	100.0

(6) 得意先別完成工事高 (累計)

(単位: 百万円・%)

	21年3月期第3四半期 (H20・4・1～H20・12・31)		20年3月期第3四半期 (H19・4・1～H19・12・31)		増 減		20年3月期 (H19・4・1～H20・3・31)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
東京電力	132,348	45.6	—	—	—	—	194,504	43.2
一般得意先	158,204	54.4	—	—	—	—	255,530	56.8
計	290,552	100.0	299,903	100.0	△9,350	△3.1	450,034	100.0

2. 平成21年3月期の個別業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 個別業績予想

(%表示は対前期増減率)

	新規受注高		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	440,000	△4.3	443,000	△1.6	6,000	30.0	7,000	24.8	4,200	3.4

(2) 工事種別新規受注高・完成工事高予想

(単位: 百万円・%)

	新規受注高 (H20・4・1～H21・3・31)		完成工事高 (H20・4・1～H21・3・31)	
	金額	構成比	金額	構成比
屋内線・環境設備工事	203,000	46.1	210,000	47.4
情報通信工事	46,000	10.5	45,000	10.2
配電線工事	160,000	36.4	160,000	36.1
工務関係工事	31,000	7.0	28,000	6.3
計	440,000	100.0	443,000	100.0

(3) 得意先別新規受注高・完成工事高予想

(単位: 百万円・%)

	新規受注高 (H20・4・1～H21・3・31)		完成工事高 (H20・4・1～H21・3・31)	
	金額	構成比	金額	構成比
東京電力	180,000	40.9	180,000	40.6
一般得意先	260,000	59.1	263,000	59.4
計	440,000	100.0	443,000	100.0

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において想定される経済情勢や市場動向などを前提としたものであり、今後の様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。なお、個別業績予想は、平成20年10月31日の第2四半期決算発表時に公表した数値から変更していません。